

6月16日(土)に「青葉区中央市民センター」において、みやぎ街道交流会平成30年度定期総会を、引き続き「総会記念講演会」も開催しました。

開会のあいさつ / 会長 白鳥 良一

本日は会員の皆様には平成30年度定期総会にご出席頂きましてありがとうございます。

のちほどの事業報告でも触れられると思いますが、昨年度の事業計画には「蒲生地区舟溜り御蔵跡の研究と保存活用の支援」が上げられております。

これに基づき、蒲生北部地区被災市街地復興土地区画整理事業の事業主体である仙台市長と、『貞山運河再生・復興ビジョン』を策定している宮城県知事に、舟溜り及び御蔵跡の保存活用の要望書を出そうということになりました。当会をはじめ、仙台市南蒲生町内会、貞山・北上・東名運河研究会、貞山運河「御舟入堀」プロジェクト、宮城県地名研究会の5団体連名の要望書を作成し、県、仙台市との日程調整で年度を越してしまいましたが、5月22日に仙台市、6月8日に県に、各団体の代表者と共に伺いまして、それぞれ担当部局の責任者に要望書を提出してまいりました。

近年の観光行政では、いかにしてインバウンド(訪日外国人旅行)を増加させるかが盛んに議論されております。よく観光とは「光を観る」ことだと言われます。観光客はその土地固有の「光を観」に来るのです。しかし、その土地が誇れる地域資源の魅力をしっかりと見定めて、「素材となる資源」をていねいに磨き上げなければ光りは出ません。いくらインバウンドを声高に叫んでも、光るものがないところに観光客は来ないでしょうし、まがい物の光を見せても、ひんしゆくを買う結果になりかねません。



江戸時代の蒲生想定図(出典:仙台市史)

こうした観点からみても、蒲生地区の舟溜りや御蔵跡は仙台藩物流の歴史を伝える一級の歴史遺産であり、これを保存・整備して自然豊かなすぐれた景観をもつ貞山運河全体の情報発信拠点として活用することの意義は決して小さくはないと考えられます。

したがって、平成30年度事業計画においても、舟溜り及び御蔵跡の保存活用を訴えるフォーラムの開催などを組み込み、他の4団体や市民と協働しながらこの活動を一層進めて行きたいと考えているところであります。

この他にも、今年度もいろいろと事業を計画していますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

【今回の目次】

- 平成30年度総会開催報告
  - 開会のあいさつ 会長 白鳥良一 P1
  - 総会議事要旨 P2
- 平成30年度総会記念講演会  
及び街道談義 P3
- 報告
  - I 奥州街道鬼死骸地区刈払い P3
  - II 小国街道探訪研修会 P4

【編集後記】

○今年度最初のみやぎ街道交流会ニュース第38号をお届け致します。  
○サッカー・ワールドカップ(W杯)ロシア大会で、決勝トーナメント進出を決めた日本代表ですが、ポーランド戦の終盤での試合運びには議論のあるところの様です。これからの決勝トーナメントでは、時差で寝不足を気にしながらの観戦となりますが、夏バテにもご注意ください。(やま)

# みやぎ街道交流会

題字：高倉 淳初代会長 揮毫

みやぎ  
街道  
交流会  
ニュース  
第38号

2018.7.1 発行

## 平成 30 年度定期総会

### ■開催会場

平成 30 年 6 月 16 日(土) 14~15 時  
青葉区中央市民センター 第 2 会議室

### ■参加者数

定期総会 参加者：27 名  
正会員（団体会員含む）… 25 名  
賛助会員（WEB 会員含む）… 2 名

### ■次 第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 議長指名
4. 議 事
  - 1) 議案第 1 号  
・平成 29 年度事業報告(案)
  - 2) 議案第 2 号  
・平成 29 年度決算報告(案)
  - 3) 議案第 3 号  
・平成 30 年度事業計画(案)
  - 4) 議案第 4 号  
・平成 30 年度収支計画(案)
  - 5) 議案第 5 号  
・役員 の 辞 任
5. 閉 会

## 《 総 会 議 事 要 旨 》

岸 憲之幹事の司会により開会され、最初に白鳥良一会長より挨拶がありました。(内容は1頁参照)

議長に高橋幸三郎副会長が指名され、議長の挨拶後、次のとおり議事が進行されました。

### 1) 議案第 1 号平成 29 年度事業報告(案)

#### 及び議案第 2 号平成 29 年度決算報告(案)を一括審議

事業報告全般を森田均事務局長代理から、個別事業の実施状況は菊竹直起事務局長次長から報告がありました。なお、「蒲生地区舟溜り御蔵跡の研究と保存活用の支援」は会長のあいさつのおりです。また、念願の「会旗」は大小の 2 つのサイズを作成しました。

続いて、馬場恭子会計から決算報告と、監査結果が大利泰宏監査から報告がありました。

⇒審議の結果、異議がなく、承認されました。

### 2) 議案第 3 号平成 30 年度事業計画(案)

#### 及び議案第 4 号平成 30 年度収支計画(案)を一括審議

事業計画(案)は山屋事務局長、収支計画(案)は馬場恭子会計から説明がありました。

平成 30 年度重点事業は、次のとおりです。

➢「塩竈街道・肴の道交流会(仮称)」を 10 月 6・8 日で開催予定している。

➢「蒲生地区舟溜り御蔵跡の研究と保存活用の支援」を継続して実施する。

➢「小国街道 芭蕉道探訪会」は、昨年度延期したが、新年度事業として 6 月 2~3 日実施済である。

➢会員の意向把握のため「会員アンケート」を実施し、事業計画へ反映する。

⇒審議の結果、異議がなく、原案の通り決定されました。

### 3) 議案第 5 号役員 の 辞 任

幹事の新田潤さんから体調不良のため、辞任の申し出がありました。対応として、後任幹事の検討のため今年度は空席とし、来年度総会の役員改選と併せて提案したい旨報告がありました。

以上、議案の審議が終了し、定期総会が閉会しました。

※総会記念講演会及び街道談義は次頁



### 会費の納入に関して

○既に会費納入いただきました会員の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

○なお、当年度の会費は引き続き随時受け付けておりますので、納入がお済みでない方は、下記口座までお振込いただくか、みやぎ街道交流会事務局までお持ちください。

#### 【会費のお振込み先】

仙台銀行 上杉支店 普通口座 2523091  
名義：みやぎ街道交流会 会計 馬場恭子

### 会員登録内容に関して

○会員登録内容の変更がある方は「会員種別異動届書」を事務局までご提出ください。

○会員種別異動届書が必要な方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

※あなたの会員登録内容は、配付済みの「会員名簿」を参照ください。

【事務局】 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 13-17  
TEL 080-3322-1966 FAX 022-262-0379  
Mail miyagi.kaidou@gmail.com



古代の街道「東山道」について、北関東地方では遺跡発掘調査で道跡が確認されていますが、東北では郡山市荒井猫田遺跡以北では発掘されていません。

岩沼市付近では、阿武隈川と千貫山に挟まれた狭いエリアを通り岩沼西部丘陵沿いを北上しているのではと考えられてきました。

ところが今年3月に刊行された岩沼市史第1巻では、東山道は江戸時代に奥州街道があった現在の国道4号沿いを通っていたのではないかとする注目すべき見解が発表されています。

岩沼市では、市史編纂事業の一環として、岩沼西部丘陵及び国道4号ルートの数箇所発掘をしてきましたが、道跡の発掘には至っていませんでした。

しかし、平成28年に、この発掘調査のから1kmほどに位置する原遺跡の発掘調査で、玉前駅家又は玉前割の可能性のある注目すべき遺構・遺物が発見され注目されています。

今回の講演では、これらの調査の成果内容とともに、その前段に基礎知識の古代の駅路と東山道について、北関東などの東山道跡の紹介、郡山遺跡（仙台市）と多賀城跡の東山道との関わりなどについても説明頂きました。

なお、講演要旨は次号への掲載を予定しています。 (聴講者 29名)

街道談義



定期総会及び記念講演会終了後、一番町稲荷小路の某所において、恒例の街道談義が開催されました。

いつもながらの和気あいあいですが、総会記念講演会の感想を参加者の皆さんで述べる“まじめな時間”もありました。

また、今回は将来の街道活動を担うと期待される？キッズも会員のお母さんと一緒に特別参加し、楽しくも賑やかな街道談義となりました。

(参加者 22名+4名)



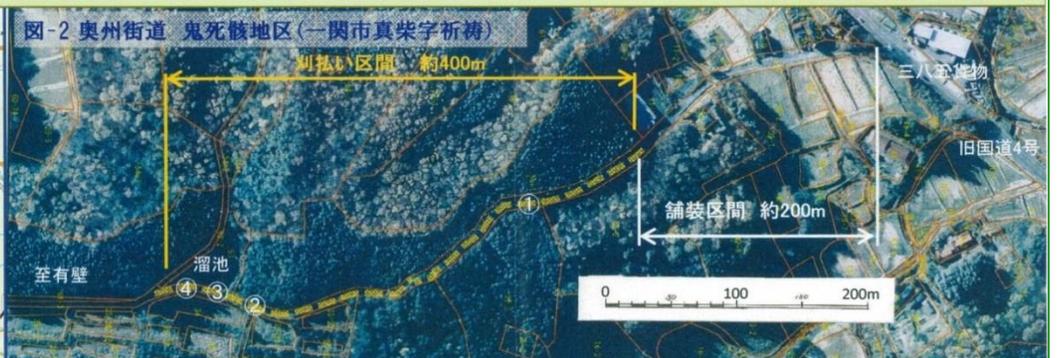
報告 I

奥州街道鬼死骸地区(一関市真柴字祈祷)刈払い 平成30年5月12日

- > 奥州街道のうち、栗原市の大崎市境から一関市真柴字祈祷(旧鬼死骸村)の旧国道4号までは、約37kmありますが、街道の旧観をよく残している区間は、6区間・5.9kmです。(図-1)
- > この区間のうち栗原市部分の5区間は、現在地元の自主的な刈払いや行政の支援による刈払いが継続して行われています。なお、区間③は、平成21年12月に5団体・60名の街道団体と地元との協働で刈払いを実施したものです。
- > また、一関市の鬼死骸地区約400m(図-2)は、平成22年11月に10団体・39名により刈払いが実施され、H23年の8月小橋架橋・10月再刈払いが行われたものの、その後は部分的刈払いに止まり、旅人の通行は困難なため懸案となっていました。
- > 今回、地元団体「いわいの里ガイドの会」を通じて真柴市民センターと調整を進め、平成30年5月12日に7団体・19名の参加により、刈払いを実施しました。
- > 今回参加した団体の連携により、この区間を利用した街道探訪会を実施することが話し合われました。



図-1 奥州街道(大崎市境～一関市間)



刈払い前・後の状況

芭蕉の道・迫街道(上街道)ツアー実行委員会(いわいの里ガイドの会、岩出の里ガイドの会、くりはら街道会議、栗原案内人会、おくの細道松島海道、みやぎの明治村観光案内人、とうほく街道会議)では、これまでに一関～岩出山間の芭蕉の道ツアーを実施しているが、今後の発展性を探るために、岩出山・天王寺追分～最上町塚田・封人の家までの調査・研究を目的に、実行委員会とみやぎ街道交流会と共催で探訪研修会を開催したものです。

**【第1部】 6月2日 12:45～16:00 [天王寺追分～中山平温泉] (徒歩距離約3.5km、参加者19名)**

[天王寺追分から尿前の関までは主に国道47号をマイクロバス移動し、尿前の関から中山平温泉の宿までを徒歩で探訪]  
〔案内〕旧岩出山町区間:菊地さん(岩出の里ガイドの会)、旧鳴子町区間:大山さん(鳴子公民館ガイド)



尿前の関跡



尿前坂



薬師坂



薬師堂跡



内山伊右衛門の墓



小深沢の坂



小深沢～大深沢へ



大深沢の橋



青面金剛童子碑にて



1日目の街道出口

**【第2部】 6月3日 9:00～12:00 [中山宿～封人の家] (徒歩距離約4.5km、参加者18名)**

[宿(なかやま山荘)から中山宿まで車で移動し、中山宿から封人の家までを徒歩で探訪]  
〔案内〕大山さん(鳴子公民館ガイド)



中山宿・遊佐大明神碑



中山宿・山神社前



山神社前・青面金剛童子碑



山神社前・金精大明神



軽井沢へ下り



軽井沢の流れ



街道景観



庚申碑



要所に案内板を設置



街道景観



甘酒地蔵



後沢の徒渡り



三界萬霊碑



最上町の街道景観



封人の家

**【第3部】 6月3日 13:00～14:30 芭蕉の道講演会 [封人の家・中座敷]**

**2日夜の街道談義**



【講師】  
**梅津 保一 氏**  
(おくのほそ道大学学長)  
※芭蕉やおくのほそ道に関する様々なお話を頂きました。  
(聴講者 20名)

